

平成28年11月21日
四国地方整備局
徳島河川国道事務所**つだ とくしまひがし
四国横断自動車道（津田～徳島東）の開通見通しについて**

～津田木材団地の本格操業に合わせ平成32年度に津田IC～徳島東IC間を開通します～

○平成31年度開通予定の四国横断自動車道（徳島JCT～徳島東IC）に引き続き、平成32年度に津田IC（仮称）～徳島東IC（仮称）を開通する見通しです。*

○これにより、徳島県が「とくしま回帰」先進地として再生させ、地方創生の起爆剤として期待する津田木材団地と、高速道路が接続することになり、地域経済の活性化が期待されます。

※開通の見通しは、標準的な工程を想定した場合の目安であり、今後の予算状況や施工上の条件変化等により、変更することがありますのでご留意ください。

～開通により期待される効果～**効果1：企業立地の促進による地域経済の活性化を支援**

高速道路の効果を更に高めるため、徳島小松島港津田地区活性化計画検討委員会において検討を行った津田木材団地の再生整備と合わせることで、更なる企業立地を促進し、地域経済の活性化を支援します。

効果2：移動時間の短縮・定時性の確保と災害時の迅速な救援・復旧活動等を支援

徳島市内の通過交通を排除し、移動時間の短縮・定時性を確保するとともに、災害時における緊急輸送道路を確保し、迅速な救援・復旧活動等を支援します。

※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト「No.5地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト」の取り組みに関連します

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 tel:088-654-2211(代表)

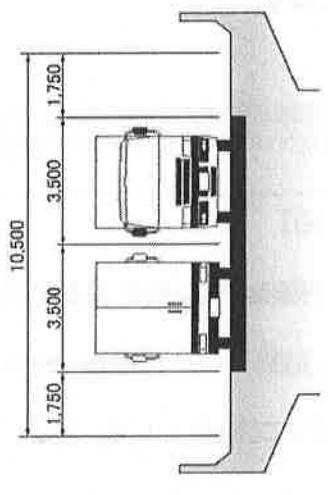
◎副所長(道路) 檜田 幸伸 (ひのきた ゆきのぶ)

道路調査第二課長 楠 英二 (くすのき えいじ)

◎:主な問い合わせ先

【四国横断自動車道】阿南～徳島東の概要

「四国横断自動車道阿南～徳島東」は、現在事業中の徳島東IC～徳島JCT間と接続し、既に開通済みの四国縦貫自動車道や四国横断自動車道と連携し、高規格ネットワークの形成と災害時の代替路としての役割を担う道路。



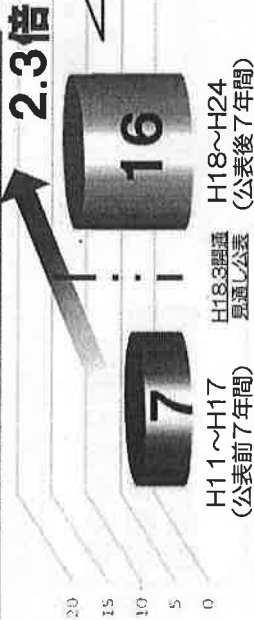
区間	四国横断自動車道(阿南～徳島東) 自)阿南市下大野町渡り上り 至)徳島市北沖洲
構造規格	第1種第2級
設計速度	V=100km/h
車線数	4車線(2車線)
幅員	23.5m(10.5m)

※開通の見通しは、標準的な工程を想定した場合の目安であり、今後の予算状況や施工上の条件変化等により、変更することがありますのでご注意ください。

企業立地の促進による地域経済の活性化を支援

- 徳島JCT～徳島東IC(仮称)はH31年度に開通を予定。鳴門JCT～徳島・徳島東ICの開通見通の公表後、「工場立地件数」が2.3倍に増加し臨海部の企業立地地が促進。
- 津田木材団地のH31年分譲開始、H32年本格操業に合わせ津田IC～徳島東IC間をH32年度に開通することで、更なる企業立地を促進。
- 高速道路の効果を更に高めるため、徳島小松島港津田地区活性化計画検討委員会において検討を行った津田木材団地の再生整備と合わせて、地域経済の活性化を支援。

■H18.3開通見通し前後の工場立地件数の伸び



更なる企業進出による地域経済の好循環を期待

※工場立地件数：
県が所管又はあわせん等を行った工場等や工場立地促進の届出河津工場を対象
※対象エリアは徳島市、鳴門市、松茂町
※件数は徳島県調べ



移動時間の短縮・定時性の確保と災害時における緊急輸送道路を確保

- 徳島市周辺では慢性的な渋滞が発生。四国横断自動車道阿南～徳島東の整備により、通過交通を排除し、渋滞を緩和することで、移動時間の短縮・定時性を確保。
- 南海トラフ地震や津波により、徳島市周辺は津波浸水被害が想定。災害時における緊急輸送道路を確保し、迅速な救援・復旧活動等を支援。



災害時における緊急輸送道路を確保

